

MSR Insights

ミャンマーの現状をシンタンの視点やデータから解き明かす

2019年6月17日

ビジネスコンサルティング / ジャパンデスク

Deputy Director / Nyana Soe

Director / 瀧波 栄一郎

ミャンマーにおける給与の最新トレンド

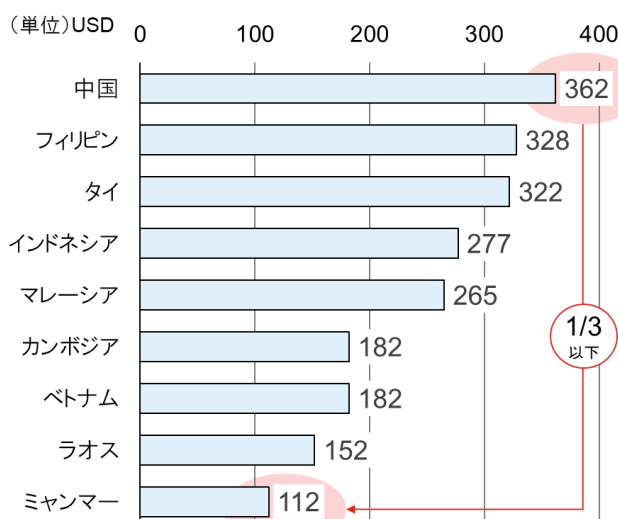
～MSR Salary Survey 2019 調査より～

弊社 MSR では 1996 年からミャンマーにおける給与調査を業界別を実施しており、本年は外資・地場企業など 262 社への直接のアンケートをもとに「Salary Survey 2019」の販売を6月より開始いたしました。本コラムでは「Salary Survey 2019」より抜粋、最新のトレンドの概要をご説明いたします。

1. アセアンでも引きつづき最低水準

ミャンマーの最低賃金水準は 112 ドル/月、アセアンなど周辺国のなかでも昨年に引き続き最も低い水準にあり、中国の 1/3 以下で、米中対立も相まって輸出拠点を中国から移転する労働集約型の企業を中心に魅力が増してきている。外資企業の製造業誘致における競争国であるラオスやカンボジアでは近年最低賃金が急速に上昇する一方で、ミャンマーでは 1 日当たりの最低賃金が 4,800 チャット (2018 年 Notification No 57/2018) が、引き続き継続される見込み。豊富な人口資源を背景に、ラオスやカンボジアよりも人件費コストでは優位性を持つ。

ミャンマーと主要国の最低賃金水準 (2019年)



(出所) Salary Survey 2019 by Myanmar Survey Research (MSR)

2. 額面給与は役職に応じて 3～18% の上昇。管理職の給与は据え置きも

ホワイトカラーの職種では、役職に応じて概ね前年比の給与上昇は 3～18% での調整が多くみられた。弊社調査では、ミャンマーの大手企業に勤務する従業員を 1. マネジメント層

(管理職)、2.ミドルマネジメント層、3.エントリー層、の3つの段階に分けて平均上昇率を比較すると、ミドルマネジメント層が最も伸びており、平均18%増加した。英語力やビジネス経験のあるミドルマネジメント層は転職市場でも需要が高く、企業側は優秀な人材の離職を防ぐために2割近い給与上昇を実施している。エントリー層は平均10%の増加で例年通り一般的な水準といえる。対してマネジメント層では3%の上昇とやや低調であった。今年管理職のベース給与を据え置く企業もみられた。国内経済の成長がやや鈍化したため、収益目標などに届かない企業では、責任者の給与は据え置きとなったケースが想定できる。

3.優秀な人材のリテンションに向けて

企業では人材のリテンションのため、額面給与アップやボーナスの付与だけでなく、教育を兼ねた社員研修旅行、飲食費の支給などの“benefit”を付与することが有用であり実施する企業も多い。これまでミャンマーのホワイトカラーにとって額面給与はもちろん大事だが、それよりも社員と経営陣の連帯性や人間関係を重視する傾向が日本以上にあった。一方で、英語にも堪能な大卒の若手世代においては、キャリアにおける自身の成長を最も重視する。近年、新規参入した外資系が高収入なポジションを提示すれば、躊躇いなくジョブホップを行う大卒若手世代も増加している。日系企業のマネジメント層にとっては、企業の5~10年先を担う社員を引き留めるため、年代や志向に応じた対策が必要であり、弊社の調査データが何らかのヒントになれば幸いである。

(おわり)

※本レポートはMJ Business (ミャンマー・ジャポン) 2019年6月号に掲載した内容を一部編集・追記しております。

著者略歴

瀧波 栄一郎 (Eiichiro Takinami) / Director

三菱UFJリサーチ&コンサルティング、Deloitte Tohmatsu Consultingにて一貫して、海外進出支援を専業とするチームで、大手日系企業の海外進出案件に従事。

専門は海外事業立案、市場調査、提携先選定、JV交渉支援など

慶應義塾大学法学部卒業 e-mail : takinami@myanmarsurveyresearch.com

Nyana Soe / Deputy Director

Magwe 大学医学部に入学、Mandalay 大学英文学科を卒業。連邦政府高官秘書として勤務後、2013年からMSRで勤務し、大手企業の調査・コンサルティング案件に従事。JICAなどと共催する投資フェアの統括責任者も務める

e-mail : nyanasoe@myanmarsurveyresearch.com

MYANMAR SURVEY RESEARCH (MSR) に関して

1995年に創業をしたミャンマー最大手のシンクタンク・リサーチ会社。国内外の民間企業と政府機関向けにMarketing、Social、Industrial、EIAの4分野で各種調査・コンサルティングサービスを提供。近年は政府・JICA・JETROと共同で地方州における投資フェアの開催や、民間企業向けのコンサルティングサービスを拡充。18年にジャパンデスクを設置し、日系企業のミャンマー進出支援や市場調査を行う

ジャパンデスク HP : <http://msr-jp.com/>